

真宗大分

平成二十五年

執務方針

大分教区教務所長 沙々木 学海

昨年七月に発生いたしました「九州北部豪雨」により被害に遇われました皆さまには心よりお見舞い申し上げます。また本山をはじめ、教区内外からいただきましたご支援に對し感謝、御礼申し上げます。

実践運動

宗門では、昨年度より機構改革がなされ新たな体制で歩みをおたしてまいりますことは既にご承知のことと存じます。併せて、従前より推進してまいりました宗門の運動であります「基幹運動」についても、これまでの成果を踏まえ、宗門に掲げられた基本理念を体し、あらゆる人々が自他共に心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する活動として「御同朋の社会をめざす大分運動」(実践運動)と名

称、運動の内容が改められ新たな歩みをおたすこととなりましたことにつきましてご承知のことと存じます。宗門では、この運動の目標を広く共有するため、総合テーマを「そととつながる ホッがつたわる」結ぶ絆から、広がる「ご縁へ」と掲げ、宗門が一体となりこの運動を推進すべく取り組みをおたしてまいります。

教区総合テーマ

大分教区におきましても、「御同朋の社会をめざす運動」教区委員会等において協議を重ね、宗門の総合テーマ「そととつ



第137号
創刊 昭和41年8月
発行
大分教区 広報部
編集委員
〒874-0920
別府市北浜3丁目6-36
本願寺別府別院内
TEL 0977-22-0146



ながる ホッがつたわる」結ぶ絆から、広がる「ご縁へ」を教区の総合テーマとし、実践目標を「日常の寺院活動」「災害支援」として取り組みをおたしてまいります。昨年度は主に実践目標の周知をおたすことが中心となりましたが、本年度は「日常の寺院活動」については「教区キッズサンガ推進委員会」「寺院振興対策委員会」等と連携をおたしながら取り組みをおたしてまいります。また「災害支援」におきましては、「災害対策委員会」と連携をおたしながら協議をおたして、本年度早期には災害発生時における教区災害対応の確立、災害ボランティアの募集と登録をおたし、大分教区災害ネットワークとして活動をおたす態勢を整えて参りたいと存じております。

創意工夫

教区財政は昨年度より宗派からの助成金等の見直しがおなされ、教区予算を編成するにつまましては大変厳しい状況下におあります。限られた財源をお活用すべく創意工夫をおたして削減可能な経費については削減をおたしながら尊いご懇念の結集をおたします。教区費の有効活用をおたしたいと存じております。本年度予算の一般会計におきましては、基本的に昨年度をお踏襲した内容をおたしてありますが、人件費の部分において、従前よりご指摘をおたしてあります職員給与・手当について若干では



「御同朋の社会をめざす運動」は教区・組・寺院・門信徒・教化団体等すべての方々と共に推進をおたしていく運動・活動であり、そこから同じ志をお持った人たちの絆をお一層強固なものにするおともに、いまままでお縁のなかつた人々へのお縁づくりをおたし、絆をお広げて参りたいとの願いをお持つておることをおこします。

組巡回

次の内容にて実施をおたさせていただきます。

- ・宗派、本願寺、教区、別院の現況及び予定
- ・「御同朋の社会をめざす運動」の現況について
- ・参加者との意見交換

特に三つ目の参加者との意見交換において頂戴おたします意見等につまましては、各組から頂戴おたしましたご意見を集約のおえ、教区・別院運営の参考とすべく、関係おたします委員会等でお協議・検討をおたしていただく資料とおたしたいとお考えております。



「御同朋の社会をめざす運動」

(実践運動)

3月15日(金)に、御同朋の社会をめざす運動(実践運動)教区委員会が開催され、12年度の反省と13年度の計画が審議され、13年度の計画書が承認されました。

12年度は、実践運動の始まりの年であり、具体的な重点プロジェクト自体が年度途中に策定されたこともあり、実践運動そのものが、どれほど周知されたか。また実践運動を推進していくための組織体制であったのか。11年度までの「基幹運動」と、どう違うのか。それとも同じなのか・・・。

なにごともしる時に出てくる課題等を明らかにすることが求められました。

これまでの基幹運動は私たちの宗門に、「同朋教団」として歩む方向性を与えたものであったことを、基幹運動の成果としています。教区委員会の前日(3月14日)に開催された中央委員会では、この運

動実践の成果を踏まえ、実践運動が推進されていることが明言されました。また、「私たちの取り組み実践運動は、自他を超える救いのはたらきに包まれた私たちが、自らの

限界を知らされつつも、念仏をしつつ、苦悩の中にある人々とともに歩むことによって、同朋教団を実現し、『自他共に心豊かに生きる社会の実現』に寄与していこうとするものである」と示されました。

「同朋教団」として歩んでいくことを踏まえ、教区では

『御同朋の社会をめざす運動(実践運動) 大分教区運用内規』が、同教区委員会で承認されました。これは実践運動とあわせて、これまで教区で運動を実践し、活動をしてきた各教化団体・組織、連研委員会、同朋委員会などを、具体的な活動を分担処理するた

め推進部門と組織部門にし、教化推進協議会を設け、実践運動の全一的推進に努められるよう組織の見直しを図ったもので、より教区全体として運動実践が推進されることが期されます。

組織の見直しのなかで、組委員会における、委員長と副



～結ぶ絆から、広がるご縁へ～

委員長の選任については、教区では、組長を委員長、2名の副委員長の内1名は、実践運動推進主任とすることも確認されました。また、懸念されていた組委員会の任期については、中央委員会で撤廃の方向であることが示されたことが報告されました。

実践運動では、年度ごとの

推進状況の点検が求められています。12年度は、周知、移行期間でしたので、組における点検は難しいと思われませんが、その点検を、伝道本部における「宗務の基本サイクル(PDCAサイクル)」に準じて行うことが求められています。

○「宗務の基本サイクル」の概要

基本サイクル(PDCAサイクル)による宗務運営の確立を図るとともに、機敏な実行力、内外への展開力、あらゆる事象への柔軟で迅速な適応能力を備えた宗務の企画推進をめざす。

※PDCAサイクルⅡ現状や実績を把握して、それに将来予測を加えた基本方針である計画(Plan・プラン)に基づき、業務を推進・実行(Do・ドゥ)し、結果分析や目標比較原因を明らかにして評価(Check・チェック)を受けて、業務の見直し改善(Act・アクト)していく、宗務の継続的な向上をめ

ざす新たな運営体制。

この基本サイクルに準じ、教区全体の活動状況の把握等を行うべく、よりスムーズに運動実践していくため教化推進協議会の設置、組委員会の委員長と副委員長の選任といりました。常に状況把握を行い、より具体的な活動はできないのかをチェックしていければ、強力な運動実践になることと思います。

教区委員会では、基本計画にそって、「組御同朋の社会をめざす運動(実践運動)推進協議会」、「組御同朋の社会をめざす運動(実践運動)推進僧侶研修会」、「組巡回」の教区指定3研修について、「組巡回」は、出張教務所とし、宗派・教区とその現場のつながりを深めるものにする。こと、「僧研」は、『宗報』3月号記載の、安芸教区における「過去帳又はこれに類する帳簿の開示問題」を各組で研修していくことが説明されました。

実践運動も2年目を迎え、具体的な運動実践を各組において取り組みをお願いいたします。教区と組のつながり情報共有、交換をスムーズに行い、教区の全一的な運動になりますよう、お一人お一人の取り組みをお願いいたします。



法然聖人の絵図

法 話

『拝まれて生きる』

ある日の出来事です。おじいさんの葬儀の翌日にお礼参りに孫の一年生の男の子が家族と一緒に参って来ました。早速、阿弥陀様の前に座り一心に何か拝んでいる様子です。すると、その男の子が私に質



親鸞聖人

問をしてきました。

「お寺のおっちゃん、この仏さまはどんな願い事が叶うの？」

との素朴な疑問です。私はこの子の純粋な質問にどう返答しようかと思いましたが、ウソをつく訳にいきませんので、私はこのように答えました。

「この仏さまは、アマダさまっていう仏さまなんだよ。残念ながら願いの叶う仏さまではないんだよ。でもね、あなたが願うよりも先にアマダさまの方から私の事を願って、大丈夫だよ、心配ないよ、どんな事があっても私はあなたの味方だよ。いつでもどこでもナモアマダブツと声の仏となつてあなたと一緒にだよと願つて下さる仏さまなんだよ。」

と答えました。すると男の子は少し考えて、「そうなんだ。でも僕、願



浅原才市像

大分教区布教団
青年布教使代表

和田新吾

合掌

い事聞いてくれる仏さまよりいつも一緒に居てくれる仏さまの方が好き。」
と言ってくれました。そして一緒にお念仏、何とも有難い御縁でした。

わたしや あなたに拝まれて 助かつてくれよと 拝まれて ご恩うれしや 南無阿 弥陀仏

(妙好人 浅原才市さんの唄)

拝むよりも、願うよりも先にこの私のところに、絶えず喚び続けの大慈大悲の親から、拝まれ生きる人生でありましたと、ただただお聞かせいた

超 記 念 仏 者 の 対 話 ① 「ただ念仏して」

訳者(文責) 長光寺住職 大在 紀

親鸞聖人の晩年、関東の門弟の代表者数名が、本当にお念仏だけで往生できるのかという問いをかかえ、京都まで命がけで尋ねに來られました。

☆ ☆

門弟 実は、関東では近頃、お念仏はもう古いと言う者がおりまして…。

親鸞 もし、お念仏以外に往生浄土のみちを知っていると、私、親鸞にとつては、ただ念仏して阿弥陀如来にすくわれるばかりという、恩師法然聖人の仰せを信じているだけで、そのほかに別のことは何も知りません。

門弟 念仏すると地獄に墮ちると言う者がありまして、不安になつたのですが…。

親鸞 念仏が本当にお浄土に往生するたねであるのか、あるいは地獄に墮ちる業であるのか、私にはわかりません。ただ、かりに法然聖人の言葉が偽りで、念仏して地獄に墮ちたとしても、私は後悔する

ことはありません。なぜなら、ほかの修行をしたら仏になれたはずの者が念仏して地獄に墮ちたなら、騙されたという後悔もありましようが、どんな修行も全うできない私のような愚かな身は、もともと地獄しか行き場はないのです。

門弟 ああ、そうでした。生きるためには、他の生き物の命を戴かなければ生きていけない私どもは、もともと地獄行きの身でありました。

親鸞 阿弥陀さまの御本願は、地獄行きの者を見捨てておけない、なんとしてもさとらせたいというお慈悲から起こされたものです。御本願がまことであるなら、それを伝えて下さつたお釈迦さまのお説教も、それを忠実に注釈してくださつた善導大師のお言葉も嘘であるはずはありません。それを伝えて下さつた法然聖人の仰せも、法然聖人に教わつたままをお伝えしている私の言葉も、決して御本願と異なることはないはずです…。

(出拠『歎異抄第二条』)

「昨年」の豪雨を振り返って

昨年七月の耶馬溪地区の豪雨災害では、各寺院・ご門徒の皆様方にお世話様になりました。耶馬溪組で一番被害のありました、西浄寺様の復旧の状況をお知らせ致します。

駐車場・境内には冷蔵庫・流し台・洗濯機など、家庭にある思いもしない様な物が流れ込み、川沿いの塀は完全に倒れてしまいました。その後被害の少なかつたご門徒の皆様方が片付けて下さったようですが、『こんな事は初めてだった』と、本当にお疲れの



様子でした。もう二度と、こんな思いはしなくないですね。



花まつりと報恩講

本願寺別府別院

本願寺別府別院の報恩講は4月13日より16日の4日間行われます。

別院所在地である別府市では、4月初旬より「温泉祭り」が開催され、県外からも多くの方が来られます。それに合

わせて報恩講を修行いたし、初めてのご縁の方もご参拝いただくようご案内いたしております。

また4月8日はお釈迦さまのお誕生の日「花まつり」であり、当日は、山門に花御堂(はなみどう)という小さなお厨子を置き、そのなかにお釈迦さまの誕生時の姿の仏像をご安置いたし、甘茶をかけることが出来るようにしてあります。こちらも多くの方の参拝がございます。

このように本願寺別府別院では4月は尊い仏縁をいただける年に一度の時期でございます。どうぞ別府別院へご参拝ください。



花 御 堂

およろこび記事

【住職就任】

森 真仁

玖珠組 教念寺

(平25・3・29 就任)

高尾 正音

日田組 東光寺

(平25・3・29 就任)

おくやみ

次の方々が御逝去されましたので生前のご苦労を偲び謹んで敬申の意を表します。

○井上 祐子(平24・12・28)

院内組 安楽寺 前坊守

○岩男 圓令(平25・1・11)

津房組 元正寺 衆徒

編集後記

- 鷲司美恵子(平25・1・23) 岡 組 光明寺 坊守
- 護城久美子(平25・1・29) 豊後高田組 興隆寺 前坊守
- 屋形 行信(平25・2・11) 玖珠組 浄安寺 前住職
- 黒野 セツ(平25・2・27) 岡 組 瀧上寺 前坊守
- 渡邊 榮子(平25・3・26) 岡 組 明圓寺 前坊守 (敬称略)

以前、本欄でも書かれていたと思うのですが、あらためて「心」を「亡くす」ことを痛感いたしました◆しなければならぬことが多すぎると「心」を「亡」くして「忙」しくなり、忙しさゆえに「心」を「亡」して、すべきこと「忘」れてしまう◆そのうえ、3月、4月は花粉が飛び交い、考えることも億劫になりがち。◆さて、新年度を迎えましたが、実践運動もそれぞれに実践をしていた、たくさんです◆雑行雑種の自力をふり捨てて、雑多のものにふりまわされ、心を亡くさぬように、油断なきよう。